

社会福祉協議会と連携し、日々の食事を支援 社会福祉施設・団体等に缶詰を寄贈

～国内 26 か所の社会福祉協議会を通じて約 43 万個を配布～

株式会社セブン-イレブン・ジャパン（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：永松文彦）は、新型コロナウイルス感染症対策に伴い、日常生活上の困難を抱える個人・世帯等が増えていることを受け、4月24日（金）より、国内26か所の社会福祉協議会に対して、食事の支援として缶詰を順次、寄贈いたします。寄贈された商品は、社会福祉協議会を通じ、子ども食堂等の社会福祉施設・団体、支援が必要な個人・世帯等に配布されます。

当社では、これまでも各地域で締結した「包括連携協定」に基づく商品寄贈等を通じ、社会福祉協議会との連携を強化してまいりました。

このたびの、緊急事態宣言に伴う休業要請等の影響により、食品支援を必要とされる方が増えております。社会福祉協議会より、配布用食料品が不足しているとのことをご相談を頂き、今回、合計43万個の食品を寄贈してまいります。

<概要>

■寄贈先

国内 26 か所の社会福祉協議会

■日時

4月24日（金）より順次寄贈



セブンプレミアム
さんまの水煮



セブンプレミアム
オリーブオイル
さんまときのご

■寄贈商品

セブンプレミアム さんまの水煮

セブンプレミアム オリーブオイルさんまときのご

※手軽なおかずであり、常温で長期にわたる保管が可能な「缶詰」を選定。

■数量

約 43 万個

<<ご参考>>

新型コロナウイルス感染防止対策による学校等の休校により、児童が学童保育施設等で過ごす時間が長くなった事を受け、3月23日（月）より順次、国内約400か所の学童施設に対し、お菓子等約14万個を、社会福祉協議会を通じて寄贈しております。

以上